

課題

- ▶外国語における児童の意識調査より、「聞くこと」「話すこと」は自信が持てるようになっているが、「読むこと」「書くこと」に対して苦手意識が高くなっている。それは、どこまでできるようになればよいのかという児童と教師のゴールが明確になっていないことが挙げられる。
- ➡ ・単元のゴールを見通した指導と評価の一体化を図る。
- ・外国語をさらに活用できる環境を整備し、児童の活動を増やす。

具体的な取組と工夫

■八北スタイル(縦軸)

- ・インプットとアウトプットをつなげる授業展開
- ・意図的・計画的な中間指導



■八北モデル(横軸)

- ・ルーブリックとパフォーマンス評価
- ・文字指導の評価規準

■ENGLISH DAY

- ・外国語のあふれる生活 放送・あいさつetc...
- ・読み聞かせ(英語)
- ・ENGLISH TIME

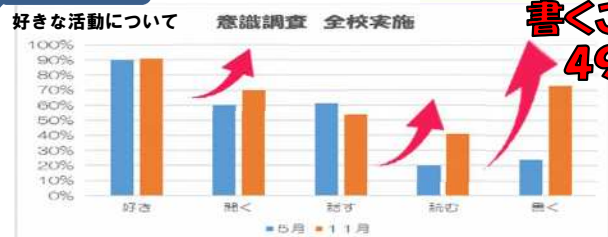


積極的にコミュニケーションを図ることができる子

■E☆ロード

- ・やって楽しい、見て楽しい
- ・活用できる掲示物
- ・学年別のポートフォリオ

成果



英単語認識テスト (Let's Tryより抜粋・全校調査)

動物	77%	dog
食べ物	79%	rice
色	88%	orange

➡ 全校児童の8割が英単語習得

課題及び改善案

- 英語で活動するイベントを定期的に設け、楽しく英語を活用する機会を増やしていく。
- 今までの教材教具を整理し直し、効率的に学習効果を高められる環境を整える。
- 小中の連携を強化し、互いの課題を改善できるようにさらなる連携を図っていく。